

公開講座のご案内

(2011.9～2011.11)

- ・ 損保SE講座 基本コース
- ・ 損保SE講座 経理コース
- ・ 生保SE講座 基本コース

2011年8月

株式会社 トムソンネット

損保会社及び生命会社の情報システムの企画、開発、運用等に携わる関係者は大手会社では数千人、中堅会社でも数百名規模になっており、当然ながら自社要員以外に数多くのITベンダー及びソフトハウス等の混成部隊で構成されています。

しかしながら、日常業務に追われる中で、体系的に損保や生保の業務について学ぶ機会が少なく、巨大で複雑なシステムを正しく理解して効率的なシステムを構築できる人材の育成が難しいと云われております。

このため、損保・生保の業務やシステムを基本から体系的に学べる研修の必要性が関係各方面から求められています。

本公開講座では、「小人数で受講したい」というご要望に応え、ホームページ上にご案内する開講日を指定して受講いただく事が出来ます。

以下、公開講座の開催要領をご案内します。



2. 研修コースの種類

損保SE講座

基本コース:一日6時間

入社3年未満、又は、システム・業務経験1年～3年程度で、損保のシステム開発や業務の基本的な考え方を身に付けたい方々にお奨め致します

経理コース:一日6時間

既にシステム・業務経験のある方向けに、損保会計・経理業務の基本から実務いたるまで、システム開発や業務のポイントを解説致します

生保SE講座

基本コース:一日6時間

入社3年未満、又は、システム・業務経験1年～3年程度で、生保のシステム開発や業務の基本的な考え方を身に付けたい方々にお奨め致します

注。上記「基本コース」修了者には「上級コース」の用意があります。

第 I 編 損害保険と業務の基本

I. 損害保険とは

- 1-1身の回りにはこんなリスクがあります
- 1-2車に乗ったときのリスク
- 1-3「保険」はリスクに備える方法の1つ
- 1-4自動車は損害保険です
- 1-5損害保険の仕組、etc.

II. 損害保険会社

- 2-1日本の損害保険会社
- 2-2損害保険の関連団体
- 2-3損害保険会社の組織と役割

III. 保険契約の手続き

- 3-1保険「取引」における登場人物
- 3-2あなたが自動車保険に入るには
- 3-3保険契約が成立するまでの流れ
- 3-4保険契約はいつ始まり何時終るのか
- 3-5保険料の支払方法
- 3-6契約に係わる基本知識
- 3-7契約内容の変更
- 3-8保険契約期間が終わったら(満期管理)

IV. 保険の販売ルート

- 4-1保険販売にはどんなルートが有るのか
- 4-2保険代理店を始めるには
- 4-3保険代理店の仕事とは
- 4-4保険料領収と請求・精算
- 4-5代理店の経営形態、etc.

V. 事故処理の手続き

- 5-1自動車事故が起きたら
- 5-2保険金支払額はどのように決められるか
- 5-3保険金支払いの手続き
- 5-4保険会社の保険金支払いへの備え

VI. 損害保険情報システム

- 6-1機能モデル
- 6-2システム関連イメージ図
- 6-3契約管理システム
- 6-4代理店Webシステム
- 6-5損保システムの特徴と課題

VII. 損保市場

- 7-1世界の市場規模
- 7-2日本の市場規模
- 7-3損保各社の経営指標

VIII. 損保と隣接領域

第 II 編 損害保険商品

I. 自動車保険

II. 契約申込申込書を書いてみよう

III. 火災保険

IV. 地震保険

V. 傷害保険

VI. 積立保険

第 I 編 損保会計の概要と特色

1. 会計処理とは

- 1-1 会計処理とは
- 1-2 貸借対照表
- 1-3 損益計算書
- 1-4 複式簿記
- 1-5 財産、収支の区分
- 1-6 仕訳
- 1-7 勘定科目

2. 損保会社会計の位置づけ

- 2-1 損保会計とは
- 2-2 保険業法

3. 損保会計の業務

- 3-1 事務の内容
- 3-2 出納
- 3-3 点検管理

4. 財務会計システム全体像

5. 自動仕訳 原票と勘定科目

- 5-1 保険引受取引事例
- 5-2 保険引受取引事例(前年度)
- 5-3 諸手数料および集金費
- 5-4 保険金支払い事例
- 5-5 再保険処理事例

6. 社費

- 6-1 社費とは
- 6-2 配賦計算

7. 損保会社の特色

- 7-1 一般企業の利益
- 7-2 損保の利益確定
- 7-3 年度別会計
- 7-4 責任準備金 概要、種類
- 7-5 責任準備金 その他の種類
- 7-6 支払備金
- 7-7 会計帳簿
- 7-8 正味収入保険料
- 7-9 主な資産勘定科目

第 II 編 損害保険商品

1. 保険料計上・精算業務

- 1-1 保険料計上の流れ
- 1-2 申込書受付
- 1-3 保険料領収
- 1-4 保険料計上
- 1-5 分割払いシステム
- 1-6 団体システム
- 1-7 自賠責保険の入金

2. 保険料の精算処理

- 2-1 保険料精算
- 2-2 保険料精算書
- 2-3 代理店手数料、etc.

第 III 編 新しい会計システムへ

- 1. キャッシュフロー計算
- 2. SOX法対応
- 3. 国際会計基準(IFRS)

I. 生命保険の必要性

- 1-1身の回りにはこんなリスクがあります
- 1-2人の生死に関するリスクと保障手段
- 1-3リスクとリスクマネジメント
- 1-4人保険と物保険
- 1-5ライフサイクルの変化と関連商品
- 1-6必要資金の考え方
- 1-7預貯金と保険の違い
- 1-8生命保険の意義
- 1-9生命保険契約の要素



II. 生命保険の仕組み

- 2-1収支相等の原則
- 2-2大数の法則と生命表
- 2-3自然保険料と平準保険料
- 2-4保険料の構造
- 2-5保険料算出の3要素
- 2-6配当金と3利源

III. 生命保険業界の動向

- 3-1生命保険の位置づけ
- 3-2生命保険の市場規模
- 3-3生命保険の歴史
- 3-4生命保険業界の自由化
- 3-5生命保険業界の話題



IV. 生命保険の種類

- 4-1生命保険の商品構成
- 4-2基本商品
- 4-3その他の商品
- 4-4特約



V. 生命保険に係わる基礎知識

- 5-1生命保険の販売ルート
- 5-2契約の変更
- 5-3保険料の支払
- 5-4告知義務
- 5-5契約引受の審査
- 5-6クーリングオフ
- 5-7免責事由
- 5-8契約者貸付

VI. 生命保険の業務

- 6-1生命保険会社の組織
- 6-2業務の流れ
- 6-3契約の引受から審査・契約の締結
- 6-4契約の維持・保管理業務
- 5-5保険金支払業務
- 5-6資産運用業務



VII. 生命保険のシステム

- 7-1システムの全体構成
- 7-2個人保険システム
- 7-3団体保険システム
- 7-4資産運用システム
- 7-5数理統計・決算システム

4. 募集要領

1. 開催日時

	9月	10月	11月
生保 基本	9/22(木)	10/20(木)	11/17(木)
損保 基本	9/29(木)	10/27(木)	11/24(木)
損保 経理		10/25(火)	

2. 会 場

東京都区千代田区内神田(弊社本社)を予定していますが、
参加人数により会場を変更する事があります。

3. 募集人数

各回20名程度(人数が少ない場合は中止する場合があります)

4. 参加費用

各講座:1名 ¥40,000円(消費税込み、テキスト込み)

5. 申し込み手続き

弊社ホームページよりお申込み下さい。

受講者には「修了証」を発行します

1. 担当講師

岩本 堯 武田 正子 田中 遠介 寺元 洋二

望月琢彦 村田 守弘 吉田 友作

(一講座、2～3名で担当いたします)

2. 講師団の略歴

(株)トムソンネットのHP・ビジネスパートナーのページをご参照下さい。

株式会社 トムソンネット

住所: 〒101-0047

東京都千代田区内神田一丁目8番1号 (三井ビル 7F)

URL: <http://www.tmsn.net>